

＜キャリアインターンシップ事前指導にて＞

昨日、元オリンピック選手の千葉真子さんが学校にきました。全校生徒にとお願いしたのですが、JOCの方針で、2年生だけに授業をしてもらいました。印象的だったのは、オリンピック選手になるとは夢にも思っていなかったこと、中学時代はテニス部でメンバーが足りなくて駅伝に出ることになったこと、実業団で陸上を続けるときも同じ高校の有力選手のおまけで入ったこと、小出監督にコーチを自分からお願いしたことなどいくつかのターニングポイントがあったことです。しかしそこで共通するのはしっかりと自分の将来に向き合っていることです。千葉選手の言葉を借りると小さなことを一つ一つクリアしていくと大きな目標へと近づく。クリアできるように具体的な取組の計画をすることが大事だということです。

これから説明するキャリアインターンシップもそうです。「キャリアを積む」という言葉があります。これは自分の市場価値を高めるという意味です。もっと具体的に言うと稼ぐ力を身に付ける、働ける範囲を広げ、多くの給料をもらえるようにすることです。就職するときには履歴書というものを書きます。どんな学校を卒業してどんな資格を持っているかのキャリアを詳しく書くものです。今皆さんが頑張っているのもそのためなのです。

昨年から夏休みを利用してキャリアインターンシップに取り組んでいましたが、今年度はさらに自分で体験場所を探して更に体験を広げていきたいと考えています。

秋保地区は、様々な職種の人々がいらっしゃいます。そのため人の生き方や人生について、その多様性を理解できる環境にあります。生徒の皆さんに、自分の将来の生き方や生活について、秋保地区と関連させながら、将来の夢や希望を持つことができるよう、また、それを実現するために、自らの意志と責任で生き方や進路を選択することができるようにしたいと考えています。そこで今年度は保護者の皆さんにも協力を得ながら、夏休みだけでなく普段から地域での職場体験活動（キャリアインターンシップ）を行います。

今年度も地域の皆さんに協力してもらえようお願いしました。現在40箇所くらいの事業所が協力をしていただけることになっています。その中には光信電気という世界的な気象機器のトップメーカーがあります。全国的に有名な篠笛製作者、すずめ踊りに使う篠笛の大半を作っている音吉屋さんもあります。今回プリントを配布し、中学生に笛教室を企画してくれました。また、秋保ツーリズムファクトリーATFという秋保舎をオープンしたり、サイクリングを中心とした観光客誘致をねらったり、更にはインバウンドを目指している会社もあります。

キャリアインターンシップを通して、10年後の自分をイメージできるチャンスにしてほしいと思っています。是非積極的に参加し多くのことを吸収してください。

学校では昨年からそば学習にそば検定を導入し、高校になってアルバイトをするときキャリアにしようと考えています。また、マナー検定や英検などの資格を積極的に取れるようにしていきます。キャリアパスポートに多くのことを書き込めるように頑張ってください。